

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2004-534074(P2004-534074A)

【公表日】平成16年11月11日(2004.11.11)

【年通号数】公開・登録公報2004-044

【出願番号】特願2003-504977(P2003-504977)

【国際特許分類】

C 0 7 J 21/00 (2006.01)

A 6 1 K 9/10 (2006.01)

A 6 1 K 31/585 (2006.01)

A 6 1 K 47/20 (2006.01)

A 6 1 P 7/10 (2006.01)

A 6 1 P 9/04 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 J 21/00 Z N M

A 6 1 K 9/10

A 6 1 K 31/585

A 6 1 K 47/20

A 6 1 P 7/10

A 6 1 P 9/04

A 6 1 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成17年6月1日(2005.6.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光子相関分光法によって測定した平均直径が約300nmから約900nmの範囲の、スピロノラクトンを含むナノ粒子。

【請求項2】

光子相関分光法によって測定した平均直径が約400nmから約600nmの範囲の、請求項1記載のスピロノラクトンを含むナノ粒子。

【請求項3】

ナノ懸濁液の形態の、請求項1または2記載のナノ粒子性スピロノラクトン。

【請求項4】

水性ナノ懸濁液である、請求項3記載のナノ懸濁液。

【請求項5】

安定化剤と結合している請求項3から5のいずれか一項記載のナノ粒子性スピロノラクトン。

【請求項6】

安定化剤がドキュセートナトリウムである、請求項5記載のナノ粒子性スピロノラクトン。

【請求項7】

請求項1～6のいずれか一項記載のナノ粒子性スピロラク톤を含む薬学的製剤。